



# 碧南ロータリークラブ週報

第2330回例会 平成18年9月20日(水)

- 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聰之



2006~2007年度  
国際ロータリーのテーマ  
**LEAD THE WAY**  
**率先しよう**  
できるひとが  
できるときに  
できるところで

## ● 齊唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」



## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

第2760地区ガバナー 斎藤直美様  
〃 地区幹事 藤井伸三様  
米山奨学生 徐 林杰様

地区ガバナー 地区幹事  
斎藤直美様 藤井伸三様

## 斎藤直美ガバナー公式訪問例会次第

会 場 碧南商工会議所  
総合司会 碧南RC 棚田道和会場監督

1. 開会 碧南RC 棚田道和会場監督
2. 点鐘 碧南RC 杉浦健次会長
3. 国家齊唱 「君が代」
4. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. ガバナー、地区幹事の紹介、歓迎の辞及び会長挨拶 碧南RC 杉浦健次会長
5. 食事
6. ニコボックス発表 碧南RC ニコボックス委員長 竹中誠君
7. ガバナー卓話 斎藤直美ガバナー
8. 謝辞 一色RC 杉田亘恭会長
9. 点鐘 碧南RC 杉浦健次会長



杉浦健次会長

## 会長挨拶



一色RC 杉田亘恭会長

本日はRI第2760地区斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えしての公式訪問例会でございます。又、一色RCさんとの合同例会でもございます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

先程、10時15分より斎藤ガバナー、藤井地区幹事のお二人と碧南RC、一色RC会長、幹事によ

ります懇談会をもたせて頂き、久しくご指導を賜りましたところでございます。

本年度の地区運営方針は「原点回帰」であります。私はロータリーの原点は親睦と職業奉仕にあると思っています。ロータリーの実を上げるためにには、ロータリーをより学び、ロータリー精神の高揚を図り、そして、その実績活動が職業奉仕になると思います。100年以上続いている老舗企業には①三方良し（売り手よし、買い手よし、世間よし）②先義後利③社会的責任④本業重視⑤遵法精神などの原理原則を守り"商い"をしている経営哲学があるそうであります。私達も各自の職業を通してこうありたいものであります。

今から斎藤ガバナーの職見のあるお話を拝聴させて頂きますが、そのご示唆が両クラブの発展につなげて行ければ幸いと存じます。

どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。

## 委員会報告

### 〈ニコボックス委員会〉

RI第2760地区ガバナー 斎藤直美様よりニコボックスを頂きました。

永井 一君 藤井達吉先生の鶏頭忌の時の写真、長田豊治さんより沢山戴きました。

井上 達夫君 同窓の斎藤ガバナーがおいで下さってうれしい。よろしくお願ひします。

長田 昌昇君 斎藤ガバナー、藤井地区幹事ようこそ碧南へ

杉浦 健次君 RI第2760地区斎藤ガバナー、藤井地区幹事のご来訪を感謝申し上げます。又、一色RCの皆様のご来碧も合わせて歓迎申し上げます。

岡田 趟勇君 RI第2760地区斎藤ガバナー、藤井地区幹事のご来訪を歓迎いたします。

## ガバナー卓話

さて私はRI会長ビル・ボイドさんのテーマを皆様にお伝えし、協力をお願いするのが、私の役目であります。

2月16日、アメリカ・サンディエゴのホテルの国際会議場で発表されました。Lead the Way「率先しよう」であります。

同時に4つの強調事項も発表されました。解り易くてよかったですとガバナー仲間では好評でした。

ところがリーダー格のパストガバナーから最近の会長テーマは前年度を意識した延長線上にあるテーマと考えるとよいと発言がありました。なるほどRIのグローバル化したプログラムは継続性が必要です。人材の継続も必要です。そうしますとLead the Wayは昨年のテーマ、ステンハマー会長さんの"Service above self"を意識したものと考えなくてはいけないであります。ご存知のようにService above self（超我の奉仕）（自己研鑽の奉仕）は第1標語（モットー）であります。

ロータリー哲学、ロータリー思想の原点と解釈されています。そうしますと昨年と今年のテーマの連続性から、「よく考えてから率先してください」とLead the Wayは読み取れるのではないでしょうか。

RIの奉仕プログラムはグローバル化され、長期化され日本人の我々には身近なテーマ、地域のテーマとして考えにくく、扱いにくくなっています。テーマの切り口がつかめないのであります。そのため、どうしても腰が引けてしまいます。

その時は、そのプログラムをもう一度考え方にして、足を止めクラブ奉仕の延長線上のテーマとして考え、クラブとして個人として扱えるかどうかを検討する必要があると思います。ところで何故クラブ奉仕の延長線上なのかを深く考えてみなくてはなりません。よくロータリーは職業奉仕だといわれています。しかし私は最近若い経営者とお喋りをするうちに職業奉仕を理解している



ガバナー斎藤直美様

ことがロータリアンとして入会してもらうための前提条件だと思うようになりました。若い彼等は職業奉仕の何たるかを別の言葉で理解しています。(例えばCSR、TQCなど。)だからこそ成功し発展し続ける企業のトップリーダーとしてロータリーにpick upされロータリー運動に参加してるわけです。ですから職業奉仕を理解していることは入会の前提条件と考えるようになつたわけです。

そしてひとたびロータリーに入会させていただいたからには、試練の場が待っています。ロータリーの何たるかを学習しなければなりません。

その学習の場が例会場でありますから例会出席を厳しく問われるわけです。例会に出席し、自分の情報をメンバーに発信してあげる、メンバーから情報を頂戴する。その行為が職業奉仕を兼ねたクラブ奉仕と考えられています。メンバーがメンバーになる必要条件がこの例会出席という義務であります。例会出席は例会づくりでもあります。自分で例会を演出し楽しい例会の協同作業を行なっているのです。そして次に・・・・あふれる・・思いが出れば(御縁があれば)社会奉仕や国際奉仕に個人として手を染めてゆくことになるのですからクラブ奉仕の延長線上にあると申し上げるわけです。社会奉仕・国際奉仕に参加してこそロータリアンとして十分条件を満たすことになろうかと思います。

この十分条件を満たすためのテーマがRI会長の4つ強調事項への参加であります。

①水保全 ②保険と飢餓 ③識字率の向上 ④ロータリー家族。

この4つのうちどれか1つに手を染めてください。そしたらロータリアンとして十分条件を満たすことになります。と訴えておられます。

しかし、クラブにはクラブの歴史とよって立つ地域の特性があり未来へ向けての奉仕の方針があります。個人には個人の人生観があります。四つの強調事項にどう取り組むかは、クラブ毎にロータリアン毎に考えればよい事だと思います。むしろ、自分達の地域のニーズに取り組むことこそ優先すべきでしょう。この時に「ロータリー運動とは何ぞや?」です。(決議23-34号に明記)ロータリーを考えていくと、この「何ぞや?」の壁に当たります。PGの森泰樹先生は「ロータリーは人生の余白」とおっしゃっています。この余白に何かを書くことが望ましいのではないかでしょうか?

それがロータリアンではないかと思います。人生の余白に何を書くか、それはあなたの、私の宿題です。

私の好きな言語にロータリアンフェイスという言葉があります。(エンジェルスマイルに通じる)町で、飛行場で、車中で、まことに柔軟な微笑をたたえてお顔の人々に会うことがあります。

そんなお顔「ロータリアンフェイス」の自分になりたいものです。

それは人生の余白に何かを書くから落書きするから出来るお顔でしょうか・・・・。

駄弁を労しました。御静聴有難うございました。

次回例会案内 平成18年10月4日(水)

卓話「日本に来てからの感想」

米山奨学生 徐 林杰 氏